



1 基本方針

基本理念に基づいた施策の基本方針を次のとおり定め、これをベースとして施策の展開を図ります。

キーワード1 のこす

仙北市の観光を形作っている自然環境や農村風景、歴史・文化は、仙北市にとってかけがえのない財産です。この先人が遺した財産を守り、後世に伝えることは我々の責務であるといえます。

市民一人ひとりが、これを自覚することにより、それぞれの立場、環境でそのできる分野、範囲においてこれらの資源を後世に「のこす」環境づくりを推進します。

また、これらの保護、保存を最優先し、今あるものを自然な形で見せる、体感できる観光を推進し、仙北市にしかない本物の自然、歴史・文化を訪れた人々に提供します。

キーワード2 いやす

仙北市には、花や緑といった美しい自然景観をはじめ、温泉、雪、山の幸や人のぬくもりなど、今あるがままで人を「いやす」ことのできる要素がたくさんあります。

訪れた皆さんに癒しの空間を提供するためには、ここに住む人たちがこれらの豊かさを再認識し、残したり、再生する努力をしながら、自ら実感できることが必要です。

観光に直接携わる人だけではなく、すべての産業に携わる人々が一体となり、心身ともに健康で元気になれる、癒される空間を創り出し、これを活かす取り組みを推進します。

キーワード3 もてなす

訪れる観光客に仙北市民のあたたかさを肌で感じとってもらえるように、人と人との出会いや交流の中での小さな心配りから、使いやすさ、快適さを心がけた施設の整備に至るまで、各分野全般にわたり、あたたかい細かな気配りを心がけます。

見る人、使う人、相手の目線に立つことによって、普段私たちが気づかないところが見えてきます。いつでも、どこで、だれにでも仙北市全体であたたかく、やさしく訪れる方々を受け入れる「もてなす」心を仙北市の魅力として定着させます。

2 重点施策

今後取り組むべき観光施策のなかで、特に重点的、優先的に事業を展開する必要がある、次の3つを重点施策として位置づけ、なお一層の取り組みを推進します。

◎ やさしさを感じる受入態勢

観光事業に携わる方たちをはじめ、市民や地域全体で観光客をあたたかく迎え入れる「おざってたんせの心」の醸成と態勢づくりを推進するとともに、親切でわかりやすい案内誘導の方策など、やさしさを感じさせる施設の整備に努めます。

「おざってたんせの心」による施策を展開し、観光客に何度でも訪れたいと思っていただくことにより、リピーターの増加を図ります。

◎ 魅力を伝える観光情報

仙北市のイメージ定着と誘客促進のために、ほしい情報をほしい人にきちんと提供することや、ターゲットを意識した、送り手側の顔が見えるような行き届いた情報発信を行います。

あらゆる手段を駆使して仙北市の魅力ある姿を相手へ正確に伝え、訪れたことのない人でも、自然に仙北市に足が向くような情報の発信に努めます。

◎ 冬の観光を元気に

低迷している冬期観光客の増加を図ることにより、一年をとおして観光客が訪れる活気のあるまちを目指します。

冬期観光の特長と弱点を洗い出し、その解決策を見いだしながら、冬期観光に関連する種々の施策を更に充実させるとともに、デメリットとして捉えられがちな冬や雪を逆手に取った新たな施策を展開します。

3 エリア別推進方向

仙北市の地域の特性に視点を置くと大きく3つのエリアに分けることができます。各エリアの特性の違いを最大限に活かしつつ、エリア間の連携を強め施策を効果的に展開するため、各エリアの施策の推進方向を示します。

① 武家屋敷周辺エリア

角館地区の中で最も多くの観光客が訪れる武家屋敷通り周辺は、国の「仙北市角館伝統的建造物群保存地区」の選定を受けており、この重要性を再認識しながら以前にも増して建造物の保存や樹木の保護、町並みの保存等に努めていきます。

平成20年度完成予定の「外町交流広場」を外町のランドマークとして、駅や駐車場からの観光客の流れを外町に誘導し、地域一円を観光客が回遊できる方策を講じながら、商店街の活性化へとつなげていきます。

今後は「武家屋敷」や「桜」といった有名なものだけでなく、角館特有の新たな観光資源の発掘と開発に努め、既存資源と絡めるなどの施策の推進を図ります。



重点的に行う取り組み

- 武家屋敷周辺の環境、景観の保全と歴史文化の継承
- 外町交流広場の活用による外町の活性化
- 角館曳山会館（仮称）の建設

② 田沢湖周辺エリア

仙北市の中でも秋田駒ヶ岳などの山々や田沢湖、温泉郷などにみられる大自然が最大の魅力である田沢湖周辺エリアは、これら自然を背景とした観光に取り組んできました。今後も自然や豊富な温泉などの魅力を伝えるとともに、体験学習等とを組み合わせた施策の展開を図ります。

また、当エリアにはスキー場やスポーツセンターなどの施設が充実しており、これらを活用した各種大会や登山、トレッキングなどの自然の中で行うスポーツも盛んに行われております。今後も環境整備を行いながら、スポーツを軸とした観光の振興を図ります。

観光客数が減少傾向にある田沢湖畔周辺については、観光地の魅力を発信するとともに田沢湖の魅力を再認識し、観光施設の整備を図るなど田沢湖を売り込む施策を検討し実行に移します。

このほか、冬期観光客の減少に歯止めをかけ、増加に転ずる施策を講じることにより、観光地の活性化を図ります。



重点的に行う取り組み

- 自然環境、景観の保護、保存
- 田沢湖畔周辺の整備
- スポーツ環境の整備
- 冬期観光の推進
- コンベンション、合宿ゼミの誘致

③ 農山村エリア

豊かな自然環境とのどかな田園風景、あたたかい人情のある農山村地域は今も日本の原風景を思わせる仙北市の貴重な財産といえます。この貴重な景観と環境の保存、保護の取り組みを進めるとともに、観光を陰で支えている農業や林業の魅力を伝えるなど、これら産業の育成、支援を推進します。

また、最近体験型観光を目的として訪れる方々が多くなってきていることから、今後もグリーンツーリズムなどの体験型観光の受け皿の整備の充実を図るとともに、農山村地域と都市との交流を促進し、体験型観光の推進拠点として位置づけます。



重点的に行う取り組み

- 農山村の景観や環境の保存、保護
- グリーンツーリズムや体験学習の推進

4 施策の基本方向

(1) 豊富な観光資源の活用と掘り起こし

仙北市の豊富な観光資源の価値を充分引き出すとともに、今まで以上に活かし、新たな特色のある観光メニューを創出します。更に、眠っている観光資源を掘り起こし、磨きをかけることにより観光資源として有用なものとしします。

また、他観光地との連携強化と冬期観光の振興を図り、周遊型、通年型の観光地づくりを推進します。

- ◇ 埋もれている観光資源の発掘
- ◇ 新たな観光メニューの創出
- ◇ 観光資源のネットワーク化

(2) 観光基盤の整備と交通の充実

観光の基盤である、自然環境、景観や歴史、文化の大切さを再認識し、この保護、継承に努めるとともに、観光施設の適正な維持管理、整備充実を図り、訪れる方々が利用しやすい環境づくりを推進します。

また、道路網の整備や交通アクセスを充実させることにより、交通環境の利便性を高めます。

- ◇ 自然環境、農村風景の保全と歴史文化の継承
- ◇ 観光施設の整備
- ◇ きめ細かな交通環境の整備

(3) 「おざってたんせの心」による受入態勢づくり

訪れる人たちと地域の人たちとの交流、心と心のふれあいを通して仙北市の良さを知ってもらうために、もてなしの心の醸成に努めます。

観光資源だけではなく、「おざってたんせの心」により観光客が満足し、また訪れたいと思っただけのような受入態勢づくりを推進します。

- ◇ ホスピタリティーの向上
- ◇ 観光客にやさしい案内

(4) 観光情報の発信と情報の収集

仙北市の魅力を正確にきめ細かく相手に伝えることで、情報を得ただけで訪れたいと思っただけのような、行き届いた効果的な情報の発信に努めるとともに、積極的な誘客宣伝活動を展開します。

また、観光客のニーズを把握するため、定期的な情報の収集に努め、施策に反映します。

- ◇ 訪れたいと思っただけの観光情報の発信
- ◇ 情報の収集とニーズの把握

(5) 観光と農林業、商工業の連携

観光と農林業、商工業との連携を強化することにより、観光の魅力を高めるとともに全産業の振興を図ります。

これには、地場産農産物等を活用した特産品、お土産品の開発や販路拡大のためのPRに努め、更に他の地域と差別化を図ることにより仙北市物産のブランド化を推進します。

- ◇ 地場農産物の活用
- ◇ 特産品の開発と販路拡大

(6) ほんものと出会える体験型観光の推進

地場産業の体験や自然体験など、地域の人たちと同じ体験をすることにより、また、仙北市の歴史、文化を学び理解することにより、地元の人たちとの交流を通して、仙北市の産業、生活、文化、風土を肌で感じる「ほんものの」「特徴のある」「ほかではまねできない」体験型ツーリズムをめざします。

- ◇ 感動を与える体験と交流
- ◇ 学習旅行の支援

(7) 国際観光の推進

海外では見ることのできない日本固有の自然や景勝、歴史、文化のほか、仙北市にしかない魅力ある観光資源を積極的にPRするとともに、外国人に特化したメニューづくりを推進します。

さらに、外国人が気軽に、容易に旅行できるような案内や施設の整備など受入態勢を整えます。

- ◇ 外国人向けメニューの開発と情報の発信
- ◇ 受入態勢の充実

5 施策の展開

(1) 豊富な観光資源の活用と掘り起こし

① 埋もれている観光資源の発掘

■ 魅力を再認識する

仙北市は、豊かな自然、歴史文化が多く残されております。四季折々の花、里山の風景、お祭りなど代々受け継がれてきた魅力は、日常生活の中にあるため、その良さに気付かないこともあります。今ある魅力を仙北市民全体で再認識し足元を見つめ直すことが必要です。

また、今まで行ってきたイベント、事業等を振り返り見直しを行います。